

京機会ニュース

No. 11 平成 14 年(2002 年) 9 月 24 日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>



改修された京都大学正門

目 次

平成 14 年度京機会秋季大会・総会開催のご案内	2 頁	ニュース広告の募集	8 頁
中部支部総会開催のご案内	2	会計からのご報告と会費納入のお願い	8
中部支部総会と平成 14 年度京機会秋季大会・総会 および懇親会のお知らせ	2	産業技術・起業・経営入門講座開講	8
「京機福岡の会」開催のご案内	3	第二世紀記念事業会からのご報告	9
関西、関東、中国・四国各支部からの 総会・新年会のご案内	3	技術者ネットワークの登録データの公開	9
昨年度の京機会運営のご報告と 今年度の運営方針について	4	京機会 web forum 活用のお願い	9
平成 14 年度京機会評議員会・春季大会・総会のご報告	4	関東支部からのご報告とお知らせ	10
平成 14 年度京機会役員	5	中国・四国支部からのご報告とお知らせ	10
平成 14 年度京機会評議員	6	関西支部からのご報告とお知らせ	11
平成 13 年度京機会決算報告	7	「京機福岡の会」にご参加を	12
		会員のページ	13
		教官の異動	14
		写真のページ	16

会費の納入をお忘れなく！(年会費 3,000 円)

平成 14 年度迄の会費未納入の方は、同封の郵便振替用紙にて納入下さい！

納入状況は同封の個人データ(会費欄)に記載しております。

平成 13～15 年度分会費を完納されますと、来夏発行予定の会員名簿を無料でお送りします。

また、名簿を購入された方で代金の納付をお忘れの方も、直ぐにお支払い下さい！

平成 14 年度京機会秋季大会・総会開催のご案内

本大会を下記により開催いたしますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成 14 年 11 月 8 日（金）13:30～

会場：(株)デンソー 社員クラブ「D スクエア」

刈谷市中山町 2-38 (0566-62-0556)

<http://www.d-square.co.jp>

マップコード：17556593

(カーナビをご使用の方はこのコードをセット下さい。)

JR 東海道線 刈谷駅、名鉄三河線 刈谷駅より徒歩

行事：

【◎中部支部総会（13:00～13:30）下記案内をご参照下さい。】

◎ 秋季大会・総会（13:30～18:15）

1. 開会挨拶 13:30～13:50

2. 総会 13:50～14:05

・京機会旗についての審議等

3. 特別講演 14:05～15:05

「セントレア（中部国際空港）の開港に向けて」 <http://www.centrair.jp>

中部国際空港（株） 社長 平野 幸久氏

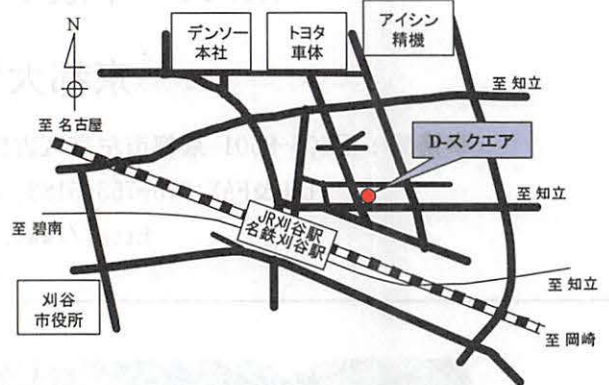
4. 技術講演 15:05～15:35

「生産ラインにおけるロボット」

(株)デンソーウェーブ 小南 哲也氏 (S55)

5. 見学会 15:35～18:15 (バスにて往復移動します。)

(株)デンソー 安城工場 スタータ自動組み付けライン



お気軽にカジュアルウェア
でお越し下さい。

◎ 懇親会：(18:15～19:45) 会費：7,000 円 (当日、同会場でお支払い下さい。)

中部支部総会開催のご案内

日時：平成 14 年 11 月 8 日（金）13:00～13:30

会場：(株)デンソー 社員クラブ「D スクエア」 ☆京機会秋季大会と同じ会場です。

◎支部総会終了後、上記の京機会秋季大会が開催されます。

◎懇親会は、秋季大会と共同で開催いたします。

◎ご回答は、10 月 18 日（金）までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

今回の返信はがきは、京機会秋季大会・懇親会の他に、中部支部総会の出欠も併せてご回答いただけるようにしました。中部地区以外の方でも、支部総会からのご参加は可能です。

◎京機会 HP (<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>) からも、各種受付が可能となりました。

但し、二重受付登録防止の為、出欠回答は、「はがき」か「HP 受付」のどちらか一方をお願いします。

中部支部総会と平成 14 年度京機会秋季大会・総会、および懇親会のお知らせ

上記案内にありますように、本年度支部総会を 11 月 8 日（金）13 時より愛知県刈谷市の (株)デンソーにて開催いたします。昨年の支部発足後、初めて当支部で開催される秋季大会・総会を盛り上げることを狙って、秋季大会・総会と支部総会を同時開催いたします。

特別講演では、常滑市沖にその姿を現し始めた中部国際空港について、空港会社社長の平野幸久様からお話をいただきます。セントレア (Centrair) との愛称で呼ぶ新空港 (次頁写真) は、中部圏と世界を結ぶ 24 時間運用可能な国際空港で、平成 17 年 3 月開港を目標に急ピッチで建設が進んでいます。厳

しい日程の中で取り組む工期短縮やコスト削減など、空港建設にまつわる技術上のチャレンジやさまざまなエピソードについてご講演いただく予定です。

加えて、(株)デンソーの安城製作所の自動車用スタータ製造ラインについて、講演と現場の見学会を予定しています。本ラインは移動機能を用いた自律・協調ロボットで構成され、ロボットの台数を増減させることにより、柔軟に生産量変化に対応することが出来、それによりスリムな投資を実現可能

としています。

その先進性は高く評価され、平成11年に第34回機械振興協会賞・通産大臣賞を受賞しております。皆様の多数のご参加をお待ち申し上げております。



「京機福岡の会」開催のご案内 (P. 12 に関連記事。)

日時：平成14年11月23日(土・祝) 13:00~16:00

会場：KKRはかた(公務員共済組合施設、福岡市中央区薬院4-24-1、092-521-4881、バス停「南薬院」すぐ、JR博多駅よりタクシー10分)

次第：昼食をとりながら懇談、および京大の現状報告(京大の教官)、今後の会の運営についての相談

会費：6,000円

◎ご回答は、11月1日(金)までをお願いします。

今回の返信はがきに、本会の出欠回答欄もご用意しておりますので、併せてご回答下さい。

九州地区以外の地域からのご参加も歓迎いたします。

◎京機会 HP (<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>) から、受付が可能です。

関西支部総会・新年会開催のご案内 (P. 12 に関連記事。)

開催日：平成15年1月17日(金)

場所：ホテルグランビア大阪

・総会：17:30~(孔雀の間)

・新年会：18:30~(名庭の間)

関東支部総会・新年会開催のご案内 (P. 10 に関連記事。)

平成15年1月下旬頃、開催予定です。

中国・四国支部総会・懇親会のご案内 (P. 10 に関連記事。)

平成15年2月初旬頃、マツダ(株)(広島県安芸郡府中町)で開催予定です。

◎上記、支部(関西・関東・中国四国)総会・新年会のご案内は、後日、別途、各支部会員宛にお送りします。

詳細は、後日 HP でもご案内します。該当支部以外の方の参加も歓迎します。

該当支部以外の方で参加希望の場合は、京機会事務局までご連絡下さい。事務局よりご案内をお送りさせていただきます。



平成14年度春季大会 講演会の風景

本年4月の総会において、昨年度に引きつづき京都大学機械系工学会(京機会)の運営を仰せつかりましたが、本年度は、昨年度構築致しました新体制の基盤を定着させることを運営の基本方針にしたいと考えております。

顧みますと昨年度は、新体制発足以来満3年が経過して活動が一巡したうえ、関西・関東支部に続き中部支部、中国・四国支部の設立が計画され、京機会が4支部体制の本格的な活動に入ることになりましたので、新体制の基盤を構築することを目的と致しました。そして、

- ① まず、12・13年度会費の納入が伸び悩んでおりましたので、各年度会費の納入経過を調査して向上対策を得ると共に、新体制発足後3年の収入と支出を分析して、健全な予算をたて実算管理する体制を構築し、試運用致しました。
- ② つぎに、支部は地域集会活動を基本とするなど、設立されました4支部のあり方を定めるとともに、4支部以外の地域への対応を検討・着手致しました。
- ③ 一方、本部は春季・秋季大会の開催、京機会ニュース・会員名簿の発行、支部支援等を行います。その組織・運営体制を強化するため会則改正と役員増強を行いました。中でも評議員は会則で卒業年度別幹事と位置づけられておりますので、卒業年度別同期会との連携を密にするため、1名の卒業年度代表評議員に連絡窓口としてご協力を頂き、1・2名の各支部会員に地区評議員に就任頂き支部活動にご協力頂くとともに、会員名簿の精度や会費納入率の向上へのご協力をお願いするなど評議員の協力体制を構築致しました。
- ④ また、第二世紀記念事業の京機会情報ネットワークにつきましては、既設の社会にオープンな京機会ホームページの充実とともに、IT時代に相応しい会員にクローズドなWebフォーラムの新設に着手しました。

⑤ 以上の特別課題検討の他、ニュース・会員名簿の発行、大会等諸会合などルーティン活動の充実・経費削減、事務の省力化等の課題検討を実施いたしました。そして、それら課題検討のためのデータベース構築と、課題検討の結果として内規・覚書・標準・基準を整備致しました。

ここで、会費納入につきましては、昨年度、京機会ニュースと一緒にお願いの文書をお送り致しましたが、お蔭様で、昨年度会費の年度末納入率は34.5%に達し、これまでで最高の平成11年度会費の年度末納入率33%を超え、また11年度会費は昨年度末で39.6%に達することが出来ました。しかし、それらはまだ予算納入率40%に達しておりませんので、今後ともご協力頂きますようお願い申し上げます。

そこで、今年度の運営方針と致しましては、

- (1) 昨年度実施しました課題検討結果の実行を継続させ、その過程で生じた問題点を改善して定着させることに最重点に取組み、問題点改善として特に事務員の業務量の適正化と会員データ管理の省力化を図りたいと存じます。
- (2) また、特別課題の検討・対策につきましては、下記の重点的課題3点を実施したいと存じます。すなわち、
 - 1) 会費納入率向上の挑戦目標を50%以上として、評議員の協力体制確立等そのための施策を重点的・長期的に実施する。
 - 2) その施策の一環として、かつ本会の活性化のため、若手会員・学生との交流を本部・支部協力して促進する。
 - 3) 会員数の少ない支部の活動強化と本部業務量適正化のため支部交付金を見直すとともに、4支部以外の地域に地区京機会設立を図る。などを推進したいと存じます。

以上、微力ながら役員共々、京機会第二世紀の磐石な基盤を定着させることに尽力したいと存じますので、皆様方の絶大なご協力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年度京機会評議員会・春季大会・総会のご報告

1. 評議員会

平成14年4月20日に総会に先立って評議員会(新旧合同)が62名の出席で開催された。総会議案の審議として、昨年度の活動報告、2支部設立と4支部の活動報告、会計報告と決算時期変更の提案がなされ了承された。また、今年度役員候補、運営方針案の説明がされ、了承された。評議員については各卒業年度で1名を「卒業年度代表評議員」と、若干名を「地区評議員」と呼ぶことが了承された。京機会活動の活性化と会費徴収率の向上について意見が出された。

2. 学生と先輩の交流会

本年も社会で活躍する機械系工学教室の先輩から在学生がさまざまな情報を得る機会として標記の会を企画・開催した。昨年より3社増え、合計62社(官公庁ならびに独立行政法人研究所の2組織を含む)から卒業生に来ていただき、在学生も2年生から修士の学生まで300名以上が参加した。所定の時間を過ぎても各所で熱気に溢れた面談が続く意欲的な交流会

となった。

3. 講演会

(1)「技術者における物理と数学の必要性和発想の転換の重要性について」

小寺 秀俊氏 (S55)

数値解析を実際に利用する場合に必要な基本的な数学の体系を交えて、数値実験の道具としての計算機シミュレーションについて講演された。さらに、これまでの機械の発明や発達における発想の転換の重要性について、例示された。最近話題になっているマイクロマシンの用途として注目されている医療分野のマイクロマシンの内、インプラントブルホスピタル(マイクロTAS)構想について説明され、その一環として自ら行われているマイクロポンプやマイクロアクチュエータについて、講演された。最後に、桂キャンパスにできる桂インテックセンター及びナノ工学高等研究院の組織について説明された。

(2) 「21世紀の工作機械ビジネス」 森 雅彦氏 (S60)

up-down の激しい工作機械業界を生き抜くためのアイデアを自社の実例とともに述べられた。具体的には工作機械消費率が90%の海外市場をターゲットにして社員の英語教育を充実させている。営業・設計・メンテナンス情報のフルデジタル化をすすめ、カリフォルニアのサクラメントにデジタル技術研究所を設立して現地大学のPhDを採用し、現地でのCAEと国内の機械設計を連携させている。これらの努力により主力マシニングセンタの低コスト化、高性能化を進める一方で、自社内に自動車部品のラインをひき、コスト計算を行って工作機械の販売戦略に活用している。統計値とものづくりの現場を冷静に分析し、"capacity"から"productivity、efficiency"への転換、国際化路線等の方針を打ち出し実践されている点に新しいリーダー像を実感した。なにより、聞いていて”元気になる”講演であった。

4. 平成14年度総会

講演会に引き続き、同会場で平成14年度京機会総会が開催された。永井会長(S31)の挨拶に続いて、下記の件が報告、承認された。なお、総会参加者は211人であった。

(1) 平成13年度活動報告の件

藤本代表幹事(S39)から、活動状況が報告された。

(2) 平成13年度会計報告の件

塩路幹事(S50)から会計報告、森川監事(S25)からの監査報告があり、了承された。また、平成14年度から決算時期を2月末日とすることが説明され、承認された。なお、平成13年度京機会決算報告はP.8に掲載。

(3) 支部報告の件

関西、関東、中部、中国・四国の各支部の活動状況について報告があった。各支部活動の詳細はP.9~12に掲載。

(4) 第二世紀記念事業の件

京機会web forum等の第二世紀記念事業が順調に行われていることが報告された。P.9で詳しく紹介する。

(5) 役員改選の件

平成14年度の会長・副会長として、

【会長】 永井 将 (S31)

【副会長】	関西支部長	坂戸 瑞根 (S32)
	関東支部長	小澤 三敏 (S33)
	中部支部長	松本 和男 (S41)
	中国・四国支部長	川口 東白 (S34)
	大学	鈴木 健二郎 (S37)

を選出した。

なお、大学以外の副会長は、原則として支部長とし、期央で支部長の交代があれば、副支部長も交代することが、付帯決議された。

(6) 新年度運営方針の件

永井会長(S31)および塩路幹事(S50)より、平成14年度の運営方針と予算案が説明され、承認された。

5. 現役生も交えた懇親会

昨年に引き続き吉田食堂を会場として、懇親会が227名の参加で盛大にとり行われた。会費がリーズナブルなこともあって、数名の女性を含む現役学生が39名も参加した。OB同志の交歓ばかりでなく、学生と先輩の自由な交流の場として定着しつつあり、昔話に花を咲かせたり、現役気質を知る絶好の場となっている。料理や飲み物もたっぷりあり、ほとんどの方が一本締めによるお開きの時間まで賑やかに語り合った。



◎春季大会・総会の様子は、P.3、P.16の写真もご参照下さい。

平成14年度京機会役員（敬称略）

【会長】

永井 将 (S31、日立造船(株) 顧問)

【副会長】

関西支部	坂戸 瑞根 (S32、パルコ冷熱システム常務取締役)
関東支部	小澤 三敏 (S33、住友重機械工業(株)相談役)
中部支部	松本 和男 (S41、(株)デンソー 専務取締役)
中国・四国支部	川口 東白 (S34、宇部興産(株)顧問)
大学	鈴木健二郎 (S37、機械工学専攻教授)

【監事】

大谷 隆一 (S37、京都大学名誉教授)
 森川 龍一 (S25、森川テクノ・マネジ 代表)
 植木 努 (H元、コーワ総合会計事務所 代表)

【代表幹事】

久保 愛三 (S41、精密工学専攻教授)

【常任幹事】

会長指名幹事
 熊澤 正博 (S43、(株)日立製作所)

【常任幹事】

支部代表幹事

関西：本地真一郎 (S45、松下電器産業(株))
 関東：藤川 卓爾 (S44、三菱重工業(株))
 中部：伊勢 清貴 (S53、トヨタ自動車(株))
 中国・四国：薦田 哲男 (S45、三井造船(株))

大学側幹事

関西支部担当：牧野 俊郎 (S47、機械物理学専攻教授)
 関東支部担当：吉村 允孝 (S43、精密工学専攻教授)
 中部支部担当：松久 寛 (S45、精密工学専攻教授)
 中国四国支部担当：島 進 (S40、機械工学専攻教授)
 名簿担当：熊本博光 (S44、情報学研究科システム科学専攻教授)
 広報：ニュース担当：木村 健二 (S51、機械物理学専攻教授)
 広報：HP担当：小寺 秀俊 (S55、機械工学専攻教授)
 会計担当：塩路 昌宏 (S50、エネルギー科学研究科
 エネルギー変換科学専攻教授)

平成 14 年度京機会評議員 (敬称略)

(新) ; H14 年度新任評議員

H14.8 現在

卒年	卒業年度代表評議員 [() 以外は関西]	地区評議員			
		関西	関東	中部	中国・四国(その他)
S 20	谷口 浩				
S 21	大矢根 守哉	鬼頭 勇			坪井 正
S 22	岸本 雅夫	岸本 雅夫			
S 23	岐美 格(新)	尾谷 博敏	京谷 好泰		遠藤 浩司
S 24	(調整中)				
S 25	森川 龍一	森川 龍一	真部 広隆		渡辺 忠淳
S 26	吉川 和彌	岡田 守夫	加藤 孝之		
S 27	鈴木 正直	山本 巖	小林 富美彌	濱島 辰雄	
S28旧	乾 宰人	乾 宰人	高橋 尚郎		寺谷 忠郎
S 28	西田 弘	宇多小路 豊(新)	西岡 良三		松田 安正
S 29	久光 脩文	久光 脩文	木村 雄宗(新)		
S 30	亀山 訓夫	赤松 秀一	石田 周二	大友 満	撰 親
S 31	橋本 昌	東 良学	戸田 凱夫	山本 新市	和中 宏樹
S 32	坂戸 瑞根	井上 陸夫(新)	木村 達也	赤松 利章	
S 33	野田 忠吉	蛭川 昌	梅本 毅	池村 澄男(新)	藤田 宏
S 34	木谷 彰宏	大泉 治朗	三浦 登志男	大鹿 澄男	川口 東白
S 35	松本 健次	矢部 寛	太田 脩二	初井 英夫	大熊 隆吉(九州)(新)
S 36	四方 光夫	四方 光夫	宮下 直也、山本 明	井上 恵太	佐藤 義政
S 37	伊藤 俊太郎	吉岡 肇	小野 孝之、浅田 昭	毛戸 節男、大岩 忠明	上出 拓郎
S 38	中川 哲(中部)	安江 彰治	善本 毅	野呂 周平	高橋 正
S 39	垣野 義昭	澤田 邦昭、岸田 尚			藤田 茂文
S 40	島 進	濱野 滔士	柳井 誠、北川 正樹	荒川 義光	鷲尾 誠一
S 41	久保 愛三	古池 治孝	豊田 洋民、中垣 邦弘	松本 和男	石原 信勝
S 42	藤川 卓爾(関東)	堀家 弘	平尾 隆、西野 征規男	加藤 由人、伊藤 和彦	下津 正輝、有光 秀雄(海外)
S 43	小島 達雄(中国)	山中 猛、林 完爾 平田 誠計、大西 良弘	熊澤 正博、芳村 泰嗣	瀧本 正民	宇野 義幸、江藤 孝治
S 44	並木 宏徳	神田 剛	二井内 親兵衛	野口 満之	石川 丕行
S 45	田保 栄三	各務 嘉郎	坂口 喜好	田附 尚	葛田 哲男
S 46	三津田 恒夫	千田 衛、後藤 久夫	松宮 徹	鈴木 昌彦	山本 博孝
S 47	秋山 雅義	成瀬 忠史(新)	小澤 豊、広瀬 勇次	太田 誠一	新川 登茂直
S 48	佐々木 美樹(関東)	成宮 明、安盛 善	増本 雄治	野口 好一	吉里 勉
S 49	関納 真一(関東)	日下部 博昭、市場 良行 柏木 健男(新)	吉田 史郎		山崎 雅之
S 50	山西健一郎	盛林 茂夫、石川 聡	長田 守弘	下村 豊	溝淵 俊寛
S 51	杉江 俊治	深野 明	岩波 正	棚橋 晴彦、小松 富夫	中筋 和行(九州)
S 52	中井 善一(新)	尾上 正剛、小島 敬良	藤山 一成	佐々木一衛	生田 耕治
S 53	石山 拓二	北川 聡一、竹ノ内 壮太郎	川口 靖夫	木村 忠司	小田 祐司(九州)
S 54	坂口 保彦		大崎 安史、尾崎 永一	伴 鋼造	富田 栄二、藤井 慎吾
S 55	小寺 秀俊	奥田 寛、姫田 篤	松浦 清、宮地 豊	敷田 卓祐	
S 56	樺木 哲夫	岡村 将光(新)、谷垣 哲也(新)	羽田 英夫、石山 和文(新)	竹内 芳裕	
S 57	上井 圭一郎	三宅 俊也			
S 58	永瀬 豊	池内 清晃、西村 高明 疋田 理		山下 和彦	林 知得
S 59	横小路 泰義	長岡 壯彦、浜本 成久 有川 泰史	田中 正樹	平 弘二、押川 祐士	
S 60	新井 聡(関東)	洲崎 章弘、鈴木 洋	村上 弘記		
S 61	逆尾 昌裕	栗村 隆之、二股 一郎	粉川 良平	大塚 康司	後藤 知伸
S 62	川上 浩司	篠原 健治郎	小川 兼一郎	小関 智史	田端 伸章
S 63	玉川 雅章	加賀 邦彦	枝村 学	近藤 好正	村田 健史、久保木 孝(九州)
H 1	石谷 善博(関東)	柴田 豊、望月 正人	鳴海 一雅、栗栖 正充		平田 直人
H 2	水山 元	畑 善裕、三輪 雅彦	内山 雅史		
H 3	若林 英信		高嶺 研一、能勢 幸嗣	佐藤 利勝	
H 4	岩前 敦	福谷 和久、西田 大	林 秀樹、	久保 崇	佐分利 誠司(九州)、堀内 匡
H 5	岩井 裕	雪本 徹、廣門 泰樹			
H 6	田中 和人	安威 俊重		阿部 健一郎	
H 7	小森 雅晴	梅野 宜崇、井尾 賢司	古賀 響	泉 祐志、佐々木 伸也	大西 徹史
H 8	泉井 一浩	塩瀬 隆之、平澤 拓	笹田 義幸		
H 9	佐野 智一	平山 朋子	杉原 了一		
H 10	鞆飼 宗紀			山内 崇史	古株 慎一(海外)
H 11	佐藤 紘一				

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員のご協力をいただきながら各卒業年度同窓会との連携を密にしていきたいと考えております。

平成13年度京機会決算報告 (自 H13.4.1 至 H14.3.31)

I. 一般会計の部

1. 前期繰越金

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
前期より繰越	11,811,755	第一勧銀普通預金 現金 郵便振替口座 郵便定期貯金	675,706 222,430 2,039,719 8,873,900
合計	11,811,755		11,811,755

2. 収入

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
預金利息	56,940	定期預金利息(基本金分) 郵便定期貯金利子 第一勧銀普通預金利息	369 56,400 171
京機会会費	4,712,000		
京機会名簿代	18,000		
大会参加費	410,000		
H14年度会費等前受金	1,036,000		
貸出金返納	171,390	第二世紀事業より	
合計	6,404,330		

3. 支出

摘要	金額	内訳	
		明細	金額
会員通信費	1,283,096	評議員宛文書発送費 秋季大会案内発送費 春季大会(H13)案内発送費 返信はがき後納郵便料金 名簿関係書類・名簿発送費 通信用切手等代	58,590 450,380 460,500 140,430 98,680 74,516
印刷費	1,321,330	秋季大会案内等印刷費 京機会ニュース(9号)印刷費 総会・春季大会(H14)案内等印刷費 京機会ニュース(10号)印刷費	123,795 583,443 128,992 485,100
備品消耗品費	129,669	文具等消耗品購入費 パソコン関連用品等備品購入代	34,719 94,950
人件費	1,977,002	常勤アルバイト代・保険代 臨時アルバイト代	1,776,252 200,750
旅費	556,960	幹事会役員旅費 総会等出張旅費 その他	202,200 343,840 10,920
会議費	192,242	幹事会経費	192,242
大会経費	593,509	総会懇親会等経費 総会関連経費	513,870 79,639
支部交付金	1,017,789	関西支部交付金 関東支部交付金 中部支部交付金 中国四国支部交付金・設立準備金	601,500 204,000 100,000 112,289
支部事業費	279,700	関東支部印刷費等 中部支部印刷費等 中国・四国支部印刷費等 その他	142,865 68,680 62,155 6,000
雑費	174,262	郵便振替振込手数料 銀行振込手数料 銀行自動引落関係手数料 プリンター保守契約料 その他	83,660 16,380 22,207 36,750 15,265
名簿積立金	266,000		266,000
合計	7,791,559		

4. 次期繰越金 (H14.3.31現在)

摘要	金額	内訳
第一勧銀普通預金	500,057	(内訳)
現金	6,045	期末会費等前受金
郵便振替	988,124	その他次期繰越金
郵便定期貯金	8,930,300	
合計	10,424,526	¥10,424,526

5. 名簿積立金

摘要	金額
現金	266,000
合計	266,000

6. 基本金

摘要	金額
第一勧銀定期預金	206,535
第一勧銀定期預金 (朝永、岡本、金子、菊川、西原、長尾、柿本各基金を含む)	176,995
合計	383,530

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録 (H14.3.31現在)

資産種別	金額	資産種別	金額
第一勧銀定期(005)	1,000,000	第一勧銀定期(011)	2,000,000
第一勧銀定期(006)	1,800,000	第一勧銀定期(012)	2,000,000
第一勧銀定期(008)	1,000,000	2年国債(野村証券)	7,200,000
第一勧銀定期(009)	1,000,000	第一勧銀普通預金	1,647,095
第一勧銀定期(010)	1,000,000		
合計		合計	18,647,095

2. 収支明細

摘要	収入	支出
定期貯金利子	8,609	
利付国債配当金	9,987	
普通預金利息	355	
合計	18,951	0

H12年度決算より
¥18951 増

注記：後納郵便担保金として¥217,000が拠出されています。

上記監査内容に相違ありません。

監事 矢部 寛、 森川 龍一、 植木 努

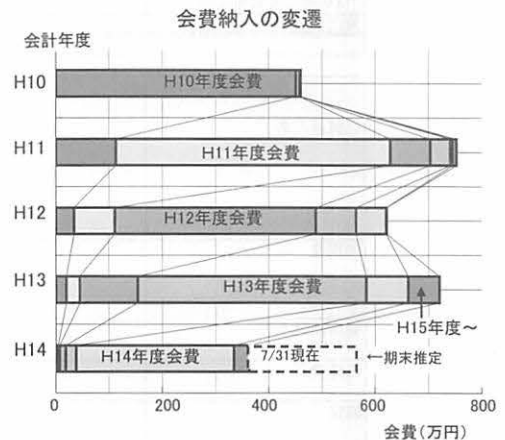
会計からのご報告と会費納入のお願い

平成13年度の決算報告では、支出が収入を約140万円上回っておりますが、これはニュース発行後の3月中旬以降に集中して納入された今(次)年度分の会費を会計年度の制約で前(今)年度に組み込んで記載してきたためであり、これを正しく今(次)年度の収入とすると収支は大きく変わり13年度は若干の黒字になります。今年度より決算期を2月末に変更することを総会でご承認いただきましたので、今後は上記のずれは是正されます。そのほか、過去5年間の収支実績に基づいて、京機会活動の活性化、支部交付金の適正化、事務省力化、等の諸対策を勘案した予算を幹事会に諮り、総会でご承認いただいております。

図は上記是正をされた各年度会費収入の変遷と各年度会費の内訳を示しております。平成13年度の会費収入は前年度の落込みの対策により増加し、ほぼ11年度と等しくなりました。しかし今年度は、期初の会費納入の伸びが小さく、8月～来年2月の納入を昨年度と同じとしても、期末の会費収入は5,610千円程度に留まることになり、大幅な落込みとなります。

名簿データ管理、名簿発行、ニュース発行、本部・支部諸

行事の開催、総会・学年同窓会・研究室同窓会や各種会合のご案内、情報ネットワークの構築等、京機会の諸活動を今後とも継続して運営・維持していくためには、会費納入率をより高める必要がございます。個人の会費納入状況は同封の秋季大会返信はがきに記載していますので、これをご確認いただき、お忘れの方は郵便振替用紙または銀行預金口座振替をご利用の上、年会費3,000円を納入下さるようお願いいたします。



ニュース広告の募集

◎京機会では、毎春秋発行の京機会ニュースへの広告を、募集いたします。(本ニュースでは、P.9に1/4頁大の広告が1件載っております。ご参照下さい。)

ニュースは卒業生、機械系関連教室の教職員に配付いたします。また、関連教室の各研究室宛へも配付し、大学院生ならびに学部生も読んでおります。

(希望の学生には、個人配布も可。)

◎広告料は、右記の通りです。

◎お申込み・お問合せは、京機会事務局まで。

◎紙面の関係で、掲載サイズに限られる場合があります。

◎次号 (No12) 広告の募集締切は、12月末日です。

広告料金

A4判 1頁大	100,000円
A4判 1/2頁大	60,000円
A4判 1/3頁大	40,000円
A4判 1/4頁大	30,000円
A4判 1/6頁大	20,000円

(カラーの場合は5割増)

産業技術・起業・経営入門講座開講

京機会、第二世紀記念事業会と共同で、学生・院生の特別講義の一環として、下記の連続講演会を開催します。先輩諸氏の参加を歓迎します。場所は京大機械教室で、時刻は16:30～18:00の予定です。詳しくはHPに掲載します。(担当:松久)

- ①10/4(金) 「ネット技術の活用で変わるものづくりの現場」 森本教稔(野村総合研究所)
- ②10/18(金) 「物づくりと法—模倣と規制—および社内発明」 櫻井彰人(弁護士)
- ③10/28(月) 「工学倫理・21世紀への課題」 野田忠吉(住友金属工業(株)元副社長)
- ④11/1(金) 「海外生産および起業」 伊奈一雄(エスアイアイ・マイクロプレジジョン社長)
- ⑤11/13(水) 「21世紀における技術の展望とものづくり」 永井 将(日立造船(株)顧問)
- ⑥11/14(木) 「力学と経営: サプライチェーンマネジメント論」 今岡善次郎(経営コンサルタント、(株)ビジデザイン代表)
- ⑦11/28(木) 「映像技術の最新動向」 則武康行(三菱電機(株)先端技術総合研究所)
- ⑧12/4(水) 「技術屋のものづくり企業経営体験論」 石坂 章(日本ジョックレーン(株)社長)
- ⑨12/11(水) 「ものづくりでのベンチャーの立ち上げ」 佐々木美樹(日本アジア投資常務取締役)
- ⑩12/13(金) 「経営者から見たものづくりの現状と将来、そして技術者の役割」 小澤三敏(住友重機械工業(株)相談役)

第二世紀記念事業会からのご報告

第二世紀記念事業会では、本事業の趣旨である「産業界と機械系工学関連教室の交流促進」を図る為、毎年、機械系学部3回生の工場見学旅行に要する経費を一部補助するなど、学生の実学経験にかかる経費の一部を負担しております。本年2月には25名の3回生が本事業会より補助を受けて3泊4日の「工場見学」に参加しました。

また、本年度は新たに、機械系教室の教育活動の一環として7月に開催された「博士課程学生対象見学・講演会」への助成も行いました。以下に当日の様子をご紹介します。

梅雨明け間近である7月18日(木)に、相生市にある「SPring8」を訪問・見学しました。「SPring8」は科学の光ともいえる「放射光」を発生する施設で、民間企業・大学・官公庁等国内外の諸機関が様々な研究開発に利用しています。同施設広報部の方にビデオ等で施設紹介をしていただいた

後、”世界最高レベルの施設”と言われるビームラインを見学しました。午後からはSPring8/JASRI 生物医学グループの佐々木裕次氏のご講演があり、講演後は同氏への活発な質疑応答も飛び出しました。

本事業会としましては、今後も「学生と産業界との交流企画」について、大いに推進していきたいと考えております。



技術者ネットワークの登録データの公開

このたび京機会会員で技術者ネットワークに登録された方 89 名のデータをホームページ京機会情報ネットワーク (<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/#>) の「技術者ネットワーク」にて公開しました。また、ホームページには掲載されていないデータを含めて107名の資料が京機会の部屋にて閲覧できます。技術相談などにご利用願います。なお、登録変更や新規登録については、第二世紀事業事務局(兼、京機会事務局)までご連絡願います。(担当:松久、小寺)

京機会 web forum 活用のお願

標記の件は、林莞爾氏(S43)のご協力を得て昨年度末より試験運用を開始し、5月初めに訂正の上、本運用を開始しております。残念ながら、本運用を開始した時期が、修士2回生の就職活動の終盤にあたっていたため、今年春の就職活動ではあまり活用されませんでした。

このフォーラムは①「お知らせ掲示板」:Forumの運営その他の意見交換、②「就職・転職フォーラム」:4回生、修士2回生と企業に属する先輩会員との情報交換、③「技術フォーラム」:会員同士の技術情報の交換、から構成されます。今後は、「就職・転職フォーラム」につきましては、来年春の修士学生の就職活動に向けて、「学生と先輩との交流会」参加企業を中心に先輩からの各社の自己紹介の投稿を依頼し、各社の本格的なリクルート活動が開始される前段階で学生と先輩との交流に利用いただきたいと思います。事務局から参加企業には再度依頼のメールは出ささせていただく予定ですが、ご協

力のほどよろしくお願い申し上げます。今年度より本格化しましたインターンシップに関連して、現4回生の来年度のインターンシップ参加に向けての交流もしていただければと思っております。「技術フォーラム」につきましては、会員同士の情報交換に明日からでもご利用ください。Forumに載せにくい内容をご相談されたいときは、互いに自分のメールアドレスや電話番号等を明らかにして、直接接触をするきっかけに使っていただけて結構です。良い意味での会員同士の「出会い系サイト」にしてください。

運用を開始したwebですが、いかに積極的に活用するかが今後の発展に影響します。皆様方のご協力と積極的なご提案をよろしくお願い申し上げます。(担当:北條、松久)

利用方法:URL:<http://www.geum.co.jp/keikikai/>
新規登録用パスワードには「k-8rt25m」を入れてください。
なお、この情報は京機会会員限定です。

広告

企業OB、現役研究者の方々！
ビジネスアドバイザー登録受付中！
詳しくは下記連絡先まで！

新事業開発は
人脈を生かした
ネットワーク
ビジネスです！

当社は大学教官・企業研究者の技術シーズを共同で開発し、外部へのM&A、ベンチャー企業創出をするユニークな企業です。

・ナノテクノロジー
・精密機械
・バイオサイエンス
・電子材料 他

TSI テクノロジー・イノベーション株式会社

TEL:075-213-8651 FAX:075-213-8652

<http://www9.ocn.ne.jp/~tsi/>

京都市中京区東洞院通御池上ル船屋町423プレナス御池805

京機会関東支部からのご報告とお知らせ

京機会関東支部では、支部活動活性化の一環として、平成14年7月5日(金)、NTT武蔵野研究開発センターにて、支部初めての「異業種交流会」を開催した。

平日の開催であったが、小澤三敏支部長(S33、住友重機械工業)、二宮 敏副支部長(S33、バブコック日立)をはじめ34名の参加を得て盛況であった。

まずNTT技術史料館(2000年11月オープン)にて日本の通信技術の進歩を辿り、次に本館2階の先端技術展示室でマルチメディア体験、質疑応答の後、今井和雄氏(S49、NTTドコモ)による「モバイル通信の現状と将来」と題した講演があり、最後は懇親会で締めとなった。

本館・史料館共に中央が吹き抜けの現代建築でありITの未来的雰囲気を体現していた。展示では、戦前の手回し電話から最先端の通信衛星、更に3Dオンラインショッピングまで、普段はなかなか見る機会のない興味深いものが多く、時間が足りない位だった。解説でEコマース、ブロードバンド等のカタカナ言葉が飛交う様は正に「異業種交流」だったが、クロスバー交換機のような古い根幹技術を史料館に納めて大事に伝承している点、1984年の世田谷とう道火災(三菱銀行の回線が焼けた事件)・1995年の阪神大震災での非常時の教訓を今に活かす姿勢は、業種が違って同じであり共感を覚えた。

質疑では「JRの自動改札でSUICAとテレホンカードを重ねると通らないのはなぜか」、「異なった文化・言語圏間の双方向コラボレーションをより易しくするための今後の

研究開発は」等の活発な質問が相継いだ。講演では「携帯電話の普及数は7,000万加入。固定電話を上回り正に1人1台の飽和状態」という現状紹介の後、「車、ペットなど動くもの全てにモバイル通信すれば3.6億加入まで伸びる」という前向きな姿勢にIT産業の若さと勢いを感じた。

懇親会では、最年長の岡野幸夫氏(S27)と最年少の高橋講司氏(H12、NTTデータ)にも挨拶を頂き、多彩な参加者の親睦を祝して終了した。



なお、関東支部では平成15年1月下旬に第3回総会・新年会を開催する予定です。同時にリカレント教育の開催を計画しております。

詳細は追ってご連絡いたします。京機会本部のホームページもご覧下さい。

中国・四国支部からのご報告とお知らせ

平成14年度前期活動報告

5月17日、川口支部長(S34、宇部興産)が高知工科大学の学生を対象に「変化の時代を生きる」と題して特別講演を行いました。これは、同大学の河田教授が、昨年秋の支部役員懇親ゴルフ大会の折に、宇部興産(株)の機械事業関連の工場を見学されたことを契機として、同社に正式依頼があり開講されたものです。講演の内容、要旨は以下の通りでした。

講演内容：

- (1) 会社事業(宇部興産(株)機械事業部門) 内容紹介
- (2) これからの会社の変身(事業再構築、事業モデルの変更)
 - ① グローバル化：欧米先行の企業のダイナミックな変身事例(GE…)
 - ② 日本：高コスト構造 物造りの外注化(含海外)
 - ③ 自動車会社の変身：ビッグ3、トヨタ、ホンダ
 - ④ 日本でしかできない物造り製造事業の例(宇部アルミホイール事業)
- (3) その他参考体験事例
 - ① 人脈作り
 - ② CONTINUOUS IMPROVEMENT(会社が変わる。自分が変わる。)

③受注生産型機械設計の90%が直感とバランス感覚

講演要旨：欧米が先行して進めるダイナミックな変身事例や、13年間で世界のビッグ3の仲間入りを果たした宇部アルミホイール事業に関する支部長自らの実践例をもとに、これから社会に出て行く学生の人たちに、激変する現在の社会的、経済的環境変化を生き抜くためには、個人はもとより企業や官庁がいかになすべきかについて、氏の考え、生き方について話されました。

2003年度総会開催案内

次年度総会は2003年2月初旬頃、マツダ(株)(広島県安芸郡府中町)で開催予定です。この機会を利用して「デジタルエンジニアリング」をテーマとした講演会(複数企業を予定)を開催し会員相互の技術交流を行う予定です。皆さん奮ってご参加ください。

訃報

当支部の設立に大変ご尽力されました(株)アイメックス元社長藤田卓一氏(S43、評議員)におかれましては、平成14年7月12日未明ご病気のためご逝去されました。ここに謹んでご報告致しますと共に故人のご冥福をお祈り申し上げます。

関西支部からのご報告とお知らせ

平成14年4月20日の本部総会に先立ち、同日支部総会を開催し、平成13年度の活動報告、会計報告、関西支部規約改正、平成14年度の役員改選及び活動計画の審議を行い、決定いたしました。紙面の都合上、平成13年度会計、支部規約改正、新役員、平成14年度上期活動、下期活動の開催等についてご報告し、ご紹介いたします。

関西支部規約改正

■支部規約改正の目的

京機会本部において、会計を2月末で締めることが提案されたこと、また、関西支部以外にも設立された他支部所属会員の方々が本部総会に参加された際、従来より本部の春季総会に併せて開催されていた関西支部総会のために時間のロス等ご迷惑をおかけする事象もでてくること、等から支部運営会議で対応を検討した結果、本部総会開催日以前（例えば新年会に併せ）に決算報告、役員人事を決める支部総会を行うことが妥当であるとの結論に至り、今年度支部総会において、事業年度を12月末締めとする支部規約改正案が提案され、承認されました。

■支部規約改正の内容

従来4月1日から3月31日までの事業年度を、1月1日から12月31日までに改める。

■支部規約改正における新旧比較

○旧規約

(第4条) 活動

本会は年度ごとに以下の活動を行う。

- ・ 支部総会開催 (1回以上)
- ・ その他本会の目的に沿う活動

○新規約

(第4条) 事業年度および活動

「第1項」事業年度は、平成14年度は平成14年4月1日から12月31日までとし、以降の事業年度は暦年とする。

「第2項」本会は事業年度ごとに以下の活動を行う。

- ・ 支部総会開催 (1回以上)
- ・ その他本会の目的に沿う活動

平成14年度関西支部役員

支部長 坂戸 瑞根氏 (S32、コペルコ冷熱システム常務取締役)
副支部長 野田 忠吉氏 (S33、住友精密工業社友)
藤縄 孝氏 (S34、元川崎重工業)
名和 基之氏 (S44、松下電器産業)
牧野 俊郎氏 (S47、機械物理工学専攻教授)
監事 西田 弘氏 (S28、西田エム・イー研究所)
事務局長 本地真一郎氏 (S45、松下電器産業)
事務次長 上原 一浩氏 (S53、神戸製鋼所)

評議員 (新任の方のみ)

野村 剛氏 (S51、松下電器産業)
鴻野雄一郎氏 (S44、住友電気工業)
谷垣 哲也氏 (S56、島津製作所)
岡村 将光氏 (S56、三菱電機)
島岡 清重氏 (S55、三菱自動車工業)
坂口 保彦氏 (S54、西日本旅客鉄道)
福森 康文氏 (S32、大阪ガス社友)

平成13年度関西支部会計報告

単位(円)

収入		支出	
項目		項目	決算額
本部からの交付金	601,500	異業種交流会運営費	80,000
前年度からの繰越金	1,173,761	産学交流会運営費	120,000
新年会参加費	1,190,000	総会、運営会議、役員会費	89,371
新年会案内広告掲載料	0	新年会費	1,359,526
受取利息	275	その他経費	64,657
		予備費	1,251,982
計	2,965,536	計	2,965,536

平成14年度上期活動報告

■異業種交流会の開催

平成14年度最初の異業種交流会に際し、登録会員、支部役員他の会員に案内を行い、下記のとおり開催いたしました。

第11回：6月5日(水) 於松下電器 生産技術本部

(参加者数41名)

講演：

- 「DVD 関連製造装置の概要について」丸尾朋弘氏 (S57)
「DVD マスタリング装置の超高精度位置決め技術」
藤田佳児氏 (S56)
「製品歩留解析用異物検査装置について」
長崎達男氏 (S61)

見学：生産コア技術研究所、

ファクトリー・エンジニアリングセンター

懇親会

■産学交流会の開催

前号でご報告の交流会以降、登録会員を中心として、下記2回の設計・製造・材料・機素・振動懇話会(京機3交会)が開催されました。

会場：京都大学工学研究科物理系校舎

第10回：3月30日(土) (参加者数22名)

「工作機械と生産システムの現在と未来」

京都大学 垣野義昭氏 (S39)

「3DCADを中心としたコンカレントエンジニアリング」

三洋電機 河田 宏氏 (S45)

第11回：7月13日(土) (参加者数38名)

「腐食損傷事例から何を学ぶか」

京都大学 駒井謙治郎氏 (S38)

「鉄道車輛用車輪・車軸の安全と工学倫理」

住友精密工業 野田忠吉氏 (S33)

平成 14 年度下期活動案内

今後の行事開催予定は次のとおり。

関西支部総会・新年会のお知らせ

開催日：平成 15 年 1 月 17 日（金）

場 所：ホテルグランビア大阪

・総 会：17:30～（孔雀の間）

・新年会：18:30～（名庭の間）

・幹事会社は副当番会社の（株）神戸製鋼所

関西支部会員には別途ご案内通知を発送します。

また、詳細は後日、京機会HPにも掲載します。

関西支部以外の方のご参加も歓迎します。支部会員以外で参加希望される方は京機会事務局迄ご連絡下さい。

事務局より別途詳細をご案内させていただきます。

関西支部産学交流会のお知らせ

第 12 回設計・製造・材料・機素・振動懇話会（京機 3 交会）

ビールでも飲みながら、以下の講演を肴に情報交換をしましょう。

日時：平成 14 年 12 月 14 日（土）13:30～

会場：京都大学工学研究科物理系校舎 216 室

1) 「航空業界の動向とヘリコプター駆動装置の開発」

五井 龍彦氏（S57、川崎重工業（株））

2) 「古典的機械技術における特許と発明賞」

久保 愛三氏（S41、京都大学）

講演終了後は、忘年会を兼ねた懇親会を開催します。

登録会員以外の方の参加も歓迎します。

懇話会当日、会場へ直接ご来場戴きましたら結構です。

関西支部異業種交流会のお知らせ

第 12 回異業種交流会

日時：平成 14 年 10 月 1 日（火）14:00～19:00

会場：（株）神戸製鋼所 高砂製作所 セミナーハウス

山陽電車 荒井駅下車 徒歩 3 分

地図はHPに掲載しております。

スケジュール：

13:40～ 受付

14:00～ 挨拶・高砂製作所紹介

14:20～ 技術講演会

①「クランク軸の製造技術とその進歩について」

森 啓之氏

②「圧力容器メーカーのASME品質保証システム」

榎本 吉男氏

③「高性能動力回収型圧縮機の開発」三宅 俊也氏

④「デジタル制御磁気軸受の圧縮機への適用」

佐成 弘毅氏

16:10～ 鑄鍛鋼工場（クランクシャフト工場、8000 トンプレス）の見学

17:10～ 質疑応答

17:30～ 懇親会（セミナーハウス、参加費 3,000 円）

第12回交流会の参加申込・お問合せは、関西支部事務局

事務次長 上原一浩（（株）神戸製鋼所）迄ご連絡下さい。

TEL 0794-45-7820、FAX 0794-45-7832

その他のお問合せは、京機会事務局まで。

第 13 回異業種交流会

今冬、住友電気工業（株）にて開催予定です。

詳細は追ってご案内いたします。



産学交流会の風景



異業種交流会の風景

「京機福岡の会」にご参加を

京機会では、平成11年の関西支部設立につづき、この1、2年で関東、中部、中国・四国支部をつくり、さまざまな活動を行っています。また、九州には154名の会員がおり、そのうち福岡に89名が集中しています。京大生は昔から群れをなさないといわれてきました。しかし、最近では技術者といえども、広い情報および人的なネットワークが必要とされています。そこで、「京機福岡の会」を作ろうということになりました。気楽に顔を合わせて飯でも食べようというものからスタートしたいと思います。昔話に花を咲かすもよし、これからの技術情報の交換もよし、多くの方が参加されることを希望いたします。もちろん福岡以外の方の参加も大歓迎です。添付のはがきにて出欠をお知らせ願います。

◎「京機福岡の会」の開催要項は、P.3をご覧ください。

会員のページ

洛悠会（昭和27年卒）卒業50周年総会開催のご案内

日時：平成14年10月25日（金） 11:00～15:30

集合：機械系教室ロビー（11:00）、
機械系教室と総合博物館見学

総会：料亭“左阿彌”（丸山公園）（13:00開始）

連絡先：山本 巖

第19回 花房研究室同窓会開催のお知らせ

第19回（2002年度）花房研究室同窓会を下記にて開催いたします。また併せて第14回ハイテクノロジー懇話会も同時開催いたしますので、同窓生の皆様多数の御参加をお願いいたします。

日時：2002年11月23日（土）

ハイテクノロジー懇話会 15:00～

花房研究室同窓会 17:00～

場所：京都センチュリーホテル（京都駅前）

なお、詳細はおつてお知らせいたします。

担当：市原 順一

平成14年度泰山会開催のご案内 （昭和27年入学/昭和31年卒業同窓会）

下記により、平成14年度の泰山会を開催いたします。今までは関西圏での開催でしたが、会員各位のご要望により本年は中部圏での開催を計画しております。

木曾川を見下ろす国宝犬山城（白帝城）や国宝茶室の如庵【じょあん】（宇楽苑【うらくえん】）、そして日本モンキーパークの見学、散策を楽しんでいただきます。その後、犬山市内のサンパーク犬山で懇親会を行います。多数ご参加下さい。

開催日：平成14年9月26日（木） 集合時間 12:30

集合場所：JR名古屋駅構内 新幹線改札付近

懇親会：サンパーク犬山 18:00～20:30

幹事：梅谷 陽二、山本 新市

なお、翌日9月27日（金）には、犬山カンツリー倶楽部に有志の方によるゴルフコンペを予定。更なる懇親と健康増進を図ることにしております。（幹事：山本新市記）

大谷隆一先生ご退官記念シンポジウム・パーティー報告

平成14年5月11日、大谷隆一先生のご退官記念シンポジウム及びパーティーを開催しました。昼は物理系校舎でシンポジウムを行い、大谷先生が最終講義をされました。研究室OBや大谷先生と親交のある方々が内外から大勢参加され、大谷先生の「高温強度」に関するご研究の集大成を楽しく伺いました。夜は場所をホテルグランヴィアに移し、パーティーを行いました。参加者全員、昔を懐かしみながら先生のご退官をともにお祝いし、楽しく和やかなひとときを過ごしました。（P.16の写真参照）

「森 美郎先生の喜寿を祝う会」（森研究室同窓会）

恩師森美郎先生が今年で数え77才を迎えられたので、森研究室同窓会では平成14年8月3日（土）、ウエスティン都ホテル（京都）を会場にして、森先生と奥様においでいただき、「森美郎先生の喜寿を祝う会」として研究室同窓会を開催した。盛夏の頃ではあったが、70名を越す同窓生とご夫人方、お子様、お孫様まで含め100余名という多数の参加があった。森先生からは、機械工学教室でのスポーツ大会のことや大学紛争当時の思い出のお話があり、また各卒業年次ごとに大学時代のエピソードの紹介があって、学生時代に戻っての楽しいひとときを過ごした。最後に琵琶湖周航の歌の大合唱があり、森先生にご多幸を祈念してのエールを送り、盛会裡に閉会した。（矢部 寛（S35）記、P.16の写真参照）

五十年会（昭和25年卒業）2002年春季例会報告

平成14年5月9日（木）に大阪倶楽部で春季例会を開催し、13名が出席しました。今回は五十年会恒例の卓話で合田英之君から「アミッシュ（Amish）の人々」の紹介がありました。アミッシュは、再洗礼運動の一派のメノナイト派から分離し、アメリカへの移民後、今日迄、ペンシルバニア州東南部等に生き続け、宗教的な教義のみならず、日常生活の実践においても、その特異性は守られ続けている。アミッシュの文化は、人の生き方を平和的な生き方へと導いて来た。軍務への参加を許さず、人と人との交わりは親密、自動車は禁止、電化製品はタブー、宝石・室内トイレ・化粧品等禁止、等々その極めて素朴で質素な生活が、資料をもとに紹介された。このような一群の人々が、現在のアメリカに存在している事に、一同驚きと強い感心を持って、聞き入った。環境問題等が深刻な現在、大いに考えさせられる一面を持っている。

昼食後、各自近況を語り合った。皆さん元気に各種の分野で活躍されており、合田君の卓話をはじめ、お互いに啓発される事が多かった。

次回は平成14年10月25日（金）に同じ大阪倶楽部で開催の予定です。

（幹事：長尾剛一、野木圭三：野木記、P.16の写真参照）

昭和38年卒=38会のクラス会のご報告

学部卒業は昭和38年（1963）ですが、殆ど全員が40年修士修了という希な同級生です。爾来5年ピッチでのクラス会は、京都を中心に、比叡山、嵐山、源氏物語ゆかりの宇治の浮き船亭、琵琶湖八景の堅田とやってきました。これまでは、大学に居る井上、駒井を世話係として行いましたが、二人とも残すところわずかとなり、幹事交代（新幹事、西岡陸夫）の話が4年前の琵琶湖の時に決まり、関東で開催ということになりました。

わが38年の有志は、関東地区では6ヶ月毎に集まっており、その場では、海外開催2002年5月プーケットの案で固まっていた。しかし年頭に皆の意見を聞いてみると5日間のツアーは現役で働いている人には、忙しい、家庭の事情（妻、親が病弱）、コストがかかりすぎ、本人の健康の問題などの理由で、関東地区、温泉、西寄り、で場所の選択をしました。

各人の置かれているシチュエーションは実に多様である事を思い知らされました。

前置きが長くなりましたが、結局 6 月 1～2 日（土～日）、16 名の者が、伊豆の歴史と湯の里修善寺に集まり、京大せんべいをむしばみつつ、京大の青春の唄を吟じながら、楽しい会をもちました。また、テニスあり、ゴルフあり、修善寺の古い街の散策ありと、健康増進にも心を砕いて、楽しい 2 日を過ごした事でした。

今回は中部地区で、中川、野呂君に幹事をお願いしています。2、3 年後開催してくれる様です。

（幹事：西岡陸夫記、P. 16 の写真参照）

第 14 回機河会（河本研究室同窓会）の報告

本年も例年通り機河会総会が 8 月の第四土曜日（8 月 24 日）に京大会館で開催された。13 時に柴田先生のご案内で河本先生ご夫妻がお元気なお姿を見せられて総会をスタートした。参加者は先生ご夫妻を含めて 25 名と盛況で、昭和 23 年卒から昭和 51 年卒まで多岐にわたった。冒頭に 90 歳になられた先生から数字と年令にまつわるお話があり、全員が先生のご記憶の確かさとお元気なご様子に安心した次第である。

また、昭和 54 年卒の現機械材料力学講座（連続体力学分野）の北條先生のご参加もあり、参加者近況報告の最初に研究状況の紹介や新キャンパスの状況などご報告頂いた。その後、お互いが歓談する中で若手から順次近況報告を和やかに言い、最後には大先輩の方々から戦争体験に伴う秘話など興味深いお話も披露され、全員が話に聞き入り予定時間を超過する程であった。閉会するに当たって次回の幹事を昭和 40 年卒の龍野、三谷両氏にお願いすることとし、16 時 15 分に散会した。

（椿本敏弘（S42 卒）記、P. 16 の写真参照）

京機九日会のご報告

平成 14 年の京機九日会は、S31 年卒が幹事を担当して次のとおり開催されました。

異動

落合庄治郎教授：本年 4 月 1 日、京都大学国際融合創造センター創造部門へ異動

鷲津 正夫教授：本年 4 月 1 日、東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻へ異動

中部主敬助教授：本年 4 月 1 日、大阪府立大学工学研究科エネルギー機械工学専攻、教授に就任

玉川 雅章講師：本年 4 月 1 日、九州工業大学大学院生命体工学研究科生体機能専攻、助教授に就任

加畑 博幸助手：本年 4 月 1 日、東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻へ異動

2 月 9 日 18 名出席

卓話「次世代人工心臓の開発」 赤松映明（S31）

4 月 9 日 19 名出席

卓話「海外自転車旅行」 田村和彦（S31）

6 月 10 日 13 名出席

卓話「粉体工学」 小浜弘幸（S32）

8 月 9 日 17 名出席

卓話「ボランティア活動」 東 良学（S31）

10 月開催予定 10 月 9 日

卓話「高粘度液輸送・ヘイシンモーノポンプ」 山下幹夫（S31）

なお平成 15 年も、2 月、4 月、6 月、8 月、10 月の 5 回（原則各月 9 日）開催予定です。

場所：中央電気倶楽部

大阪市北区堂島浜 2-1-5 TEL：06-6345-6351

時刻：11:00～14:00、会費：4000 円

お問合せは、常任運営委員 尾谷博敏氏（S23）まで。

（S31、橋本 昌記）

京機・京都の会のご報告

本会は、7 月 9 日に下記の通り例会を開催いたしました。

◎第 15 回例会

日時：平成 14 年 7 月 6 日（土）12:00～14:30

場所：ウェスティン都ホテル京都、参加者：15 名

話題：1. 「人工心臓開発の現状」赤松映明氏（S31）

2. その他

◎第 16 回例会

日時：平成 14 年 9 月 7 日（土）12:00～14:30

場所：ウェスティン都ホテル京都、参加者：15 名

話題：1. 「定年大工」沖野教郎氏（S31）

2. その他

教官の異動

就任

富田 直秀教授：昭和 54 年に早稲田大学理工学部金属工学科を卒業後、昭和 56 年に博士課程前期修了。同年 4 月佐賀医科大学医学部に再入学し医学生兼工医学研究者として研究に従事。昭和 62 年に医師国家試験合格後は奈良医大整形外科学教室研修医、国立奈良病院研修医として勤務し、傍ら京大学生体医療工学研究センターにて研究を続け、平成 6 年京大学生体医療工学研究センター（現、再生医科学研究所）に助教授として採用、平成 14 年に京都大学国際融合創造センター、創造部門（生体・医療工学）に教授として就任。同時に工学研究科機械工学専攻、バイオエンジニアリング講座医療工学分野、及び、医学研究科外科系専攻、生体工学分野を担当。研究室では工学、生物学、臨床、薬学など多分野の研究者が協力し合い、再生医学、生体材料学、バイオメカニクスなどの成果を臨床の場に展開している。趣味は仕事、テニス、ブロックルーテ演奏等。



岡田 守民助教授:昭和39年3月近畿大学理工学部数学物理



学科卒業、同年4月1日日本学助手採用、原子炉実験所原子炉部門に所属、昭和42年4月1日より本学大学院工学研究科教官併任、平成3年2月大阪大学工学博士取得、平成4年5月(社)大阪ニュークリアインス協会協会賞受賞、平成7年4月1日より原子炉実験所核エネルギー基礎研究部門に配置換え、平成14年3月1日日本学助教授、主に原子炉実験所研究炉(KUR)に設置された低温照射装置(LTL)を用いて、10Kの極低温を中心に370Kまでの任意の温度で、耐放射線材料として知られているMgOなどのセラミックス材料やカル、ダイヤモンド、SiC等の半導体材料を原子炉中性子で照射し、材料中に導入される照射欠陥の初期生成過程の解明や半導体特性に与える影響等について研究している。

鈴木 基史助教授:昭和61年京都大学工学部物理工学科卒業、



昭和63年修士課程終了。その後、(株)豊田中央研究所にて、機能薄膜および表面界面物性の研究に従事。同社ですすめた磁性人工格子の巨大磁気抵抗効果の研究で、平成10年、京都大学博士(工学)取得。また、動的斜め蒸着法によって、螺旋やジグザグなどユニークな形態を有する薄膜を作製し、光学素子や触媒への応用に関する研究も行った。平成14年4月、京都大学大学院工学研究科機械物理工学専攻マイクロ物性工学講座助教授に就任。イビームを用いた薄膜成長初期過程の解析、3次元薄膜成長シミュラを用いた動的斜め蒸着膜の形態設計等の研究をすすめている。

西脇 眞二助教授:昭和61年京都大学精密工学科卒業、昭和



63年京大大学院修士課程精密工学専攻修了、同年株式会社豊田中央研究所に入社。平成7年1月に企業派遣により、米国シカゴ大学機械工学・応用力学学科入学、平成10年5月にPh.D.を取得。平成14年3月株式会社豊田中央研究所を退職し、同年4月1日から本学助教授。大学院工学研究科精密工学専攻システム工学講座に所属し、主に最適設計と生産システム、自動車工学および車体構造設計法に関する研究に従事している。技術士(機械部門)。

梅野 宜崇講師:平成7年京都大学物理工学科卒業、9年修



士課程機械物理工学修了、11年4月1日本学助手。14年1月博士(工学)取得、14年7月1日本学講師。大学院工学研究科機械物理工学専攻材料強度物性学講座に所属し、原子・電子モデルを用いた微小材料の強度評価をテーマとして、第一原理解析による材料の理想強度評価、第一原理分子動力学法による界面の強度評価、カーボンナノチューブの強度解析、

原子構造体の不安定変形解析等を行っている。趣味はテニス、モータースポーツ、英会話。

田中 基嗣助手:平成8年京都大学工学部機械工学科卒業、



同10年京都大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了、同13年同博士後期過程修了。同14年4月1日、本学助手。大学院工学研究科機械工学専攻連続体力学研究室に所属し、主に超高温用のセラミックス複合材料や金属基複合材料のミクロスケールでの破壊挙動とそのシミュレーション、複合材料における最適な界面の設計手法の開発、複合材料中のミクロ要素の力学特性の高精度評価法の開発、ナノレーザを用いたセラミックス複合材料の耐酸化性改善手法の開発と評価などを専門に研究している。

伊藤 靖仁助手:平成11年3月京都大学工学部物理工学科卒業、



平成13年3月京都大学大学院工学研究科修士課程機械工学専攻修了。平成14年3月同博士後期課程を中退し、同年4月より京都大学大学院工学研究科助手に就任。機械工学専攻・熱流体工学分野・流体工学講座に所属し、化学反応を伴う液相乱流場における乱流混合反応機構の解明、外力を利用した流体混合および化学反応促進技術の開発を行っている。趣味は海外旅行。

朴 正圭助手:平成3年漢陽大学(Hanyang)機械工学科卒業、



同5年韓国科学技術院(KAIST)修士課程機械工学専攻修了、その後、起亜自動車中央研究室で5年間、車の騒音と振動の研究、平成10年退任。同11年京都大学大学院に入学同14年3月博士号を取得し、同14年4月1日、本学助手。大学院工学研究科精密工学専攻振動制御システム講座に所属し、主に機械力学、制振制御問題、動吸振器の応用などについて研究している。

河崎 澄助手:平成8年京都大学工学部機械工学科卒業、平成



10年京都大学エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻修士課程修了、平成12年博士課程修了。日本学術振興会研究員を経て、平成14年2月より本学エネルギー科学研究科助手。熱エネルギー変換分野に所属し、主に往復動式内燃機関の高効率化・有害排出物質低減、および乱流混合過程の数値シミュレーションに関する研究に従事。



大谷隆一先生ご退官記念シンポジウム・パーティー



昭和38年卒=38会のクラス会



「森 美郎先生の喜寿を祝う会」(森研究室同窓会)



第14回機河会 (河本研究室同窓会)



五十年会 (昭和25年卒業) 2002年春季例会

投稿記事についてのお願い

「会員のページ」の原稿は、字数約550字(約1/4ページ)以内でお願いしております。写真掲載希望の場合は、約300字以内でお願いします。(写真はデジカメ映像も可。写真は、編集後、返却いたします。)

なお、次号(No.12)の原稿締切は12月末日です。

編集担当(木村健二、蓮尾昌裕、田中和人、小森雅晴、段智子)



平成14年度春季大会 学生と先輩の交流会 懇親会の風景